

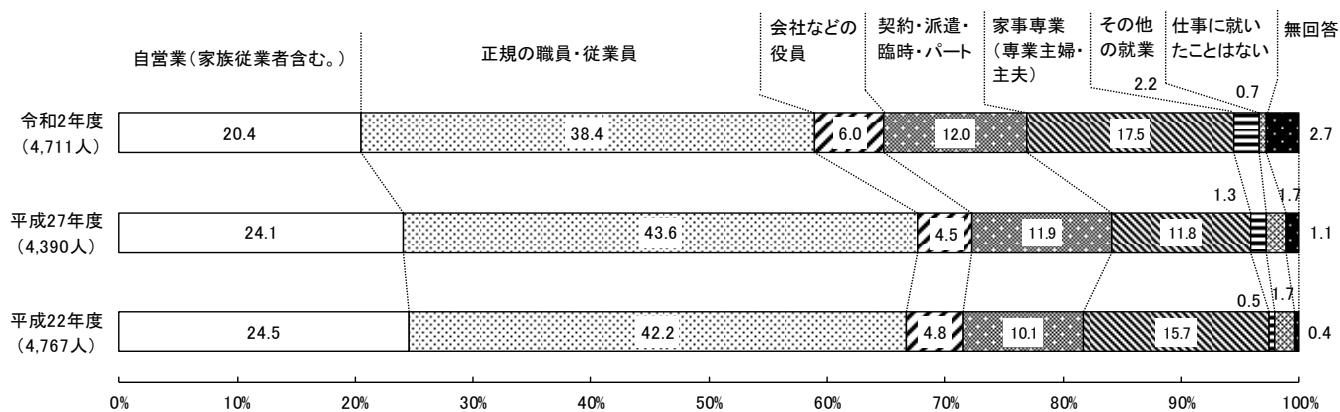
第9章 就業・経済

1 最長職業

「正規の職員・従業員」の割合が最も高く、約4割

今までに一番長く従事した仕事を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が38.4%で最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む）」が20.4%となっている。（表9-1）

図9-1 最長職業—過去調査との比較



(1) 最長職業－性・年齢階級別

男性では「正規の職員・従業員」の割合が最も高く 59.0%、女性では「家事専業」が最も高く 31.9%

最長職業を性別で見ると、男性では、「正規の職員・従業員」の割合が 59.0%で最も高く、次いで「自営業者（家族事業者を含む）」が 22.3%となっている。女性では、「家事専業（専業主婦・主夫）」の割合が 31.9%で最も高く、次いで「正規の職員・従業員」21.4%となっている。

性・年齢階級別にみると、女性では、年齢階級が上がるにつれて、「家事専業（専業主婦・主夫）」の割合が高くなっており（29.7%～42.4%）、「契約・派遣・臨時・パート」の割合は、低くなっている（23.5%～10.0%）。（表 9-1）

表 9-1 最長職業－性・年齢階級別

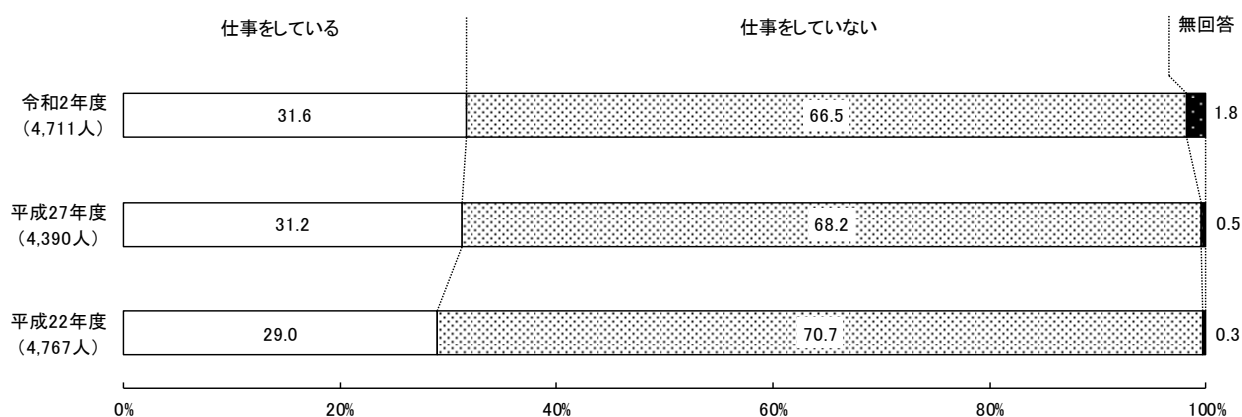
	総数	自営業者 （家族事業者を含む。）	正規の職員・従業員	会社などの役員	契約・派遣・臨時・パート	家事専業 （専業主婦・主夫）	仕事に就いたことはない	その他の就業	無回答
総数	100.0 (4,711)	20.4	38.4	6.0	12.0	17.5	0.7	2.2	2.7
男	100.0 (2,138)	<u>22.3</u>	<u>59.0</u>	11.0	2.6	0.2	0.2	2.2	2.5
65～74歳	100.0 (1,114)	16.9	65.4	10.1	3.7	0.3	0.1	2.2	1.3
75～84歳	100.0 (767)	28.4	52.8	11.9	1.6	0.3	0.4	1.6	3.1
85歳以上	100.0 (257)	27.6	49.4	12.5	0.8	—	—	3.9	5.8
女	100.0 (2,573)	18.9	<u>21.4</u>	1.8	19.9	<u>31.9</u>	1.1	2.1	2.9
65～74歳	100.0 (1,171)	14.9	25.6	2.3	<u>23.5</u>	<u>29.7</u>	0.3	1.5	2.2
75～84歳	100.0 (1,013)	23.2	18.4	1.6	<u>19.5</u>	<u>30.4</u>	1.1	2.7	3.2
85歳以上	100.0 (389)	19.8	16.5	0.8	<u>10.0</u>	<u>42.4</u>	3.6	2.6	4.4

2 現在の仕事の有無

現在、「仕事をしている」割合は約3割

収入のある仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている」割合が31.6%、「仕事をしていない」が66.5%となっている。(図9-2)

図9-2 現在の仕事の有無—過去調査との比較



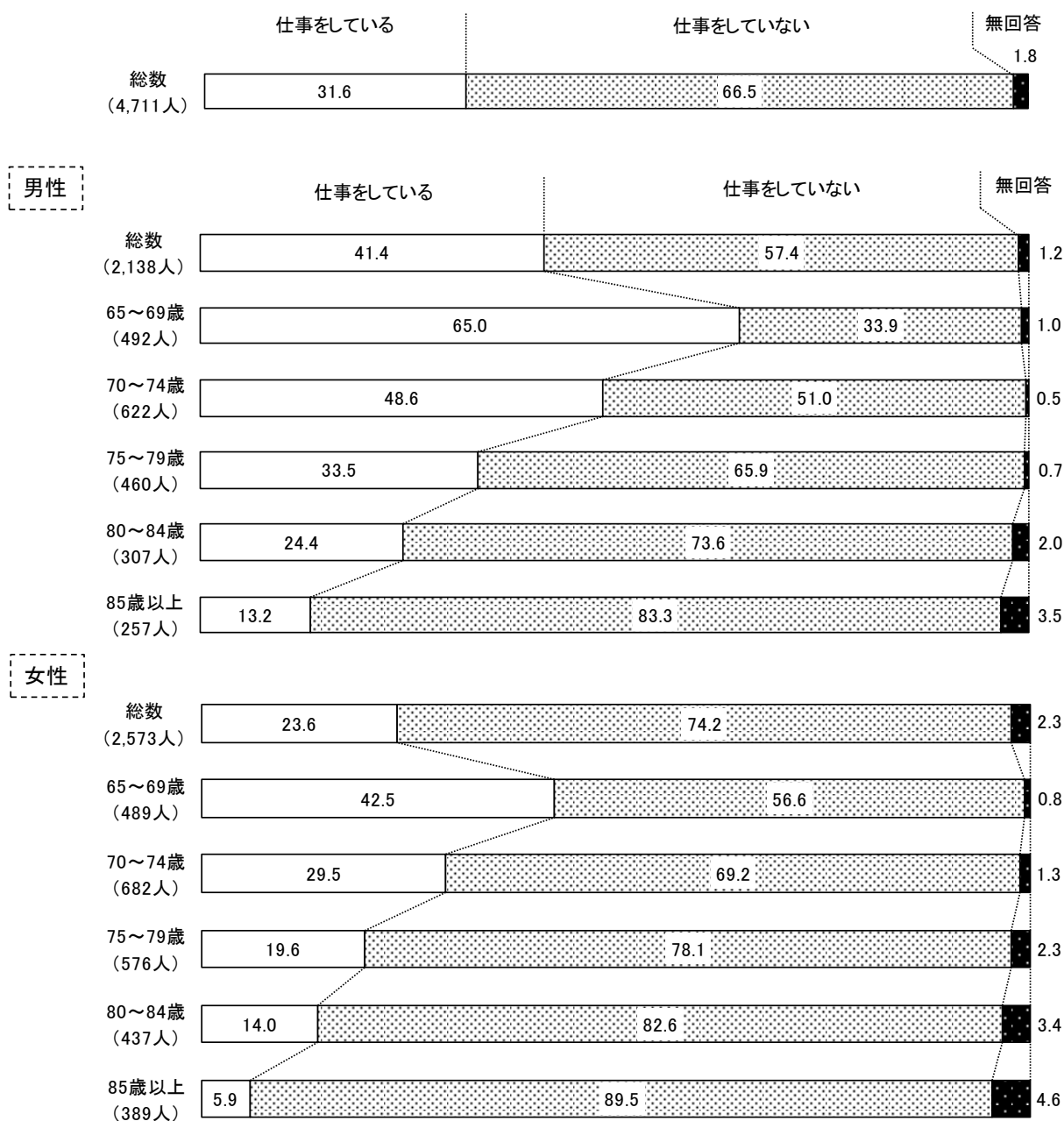
(1) 現在の仕事の有無一性・年齢階級別

「仕事をしている」割合は、男性 41.4%、女性 23.6%

現在の仕事の有無を性別で見ると、「仕事をしている」割合は、男性 41.4%、女性 23.6%となっている。

性・年齢階級別にみると、65歳～69歳では、「仕事をしている」割合が男性 65.0%、女性 42.5%となっている。(図9-3)

図9-3 現在の仕事の有無一性・年齢階級別



(2) 現在の仕事の有無—健康状態、最長職業、理想の就業年齢別

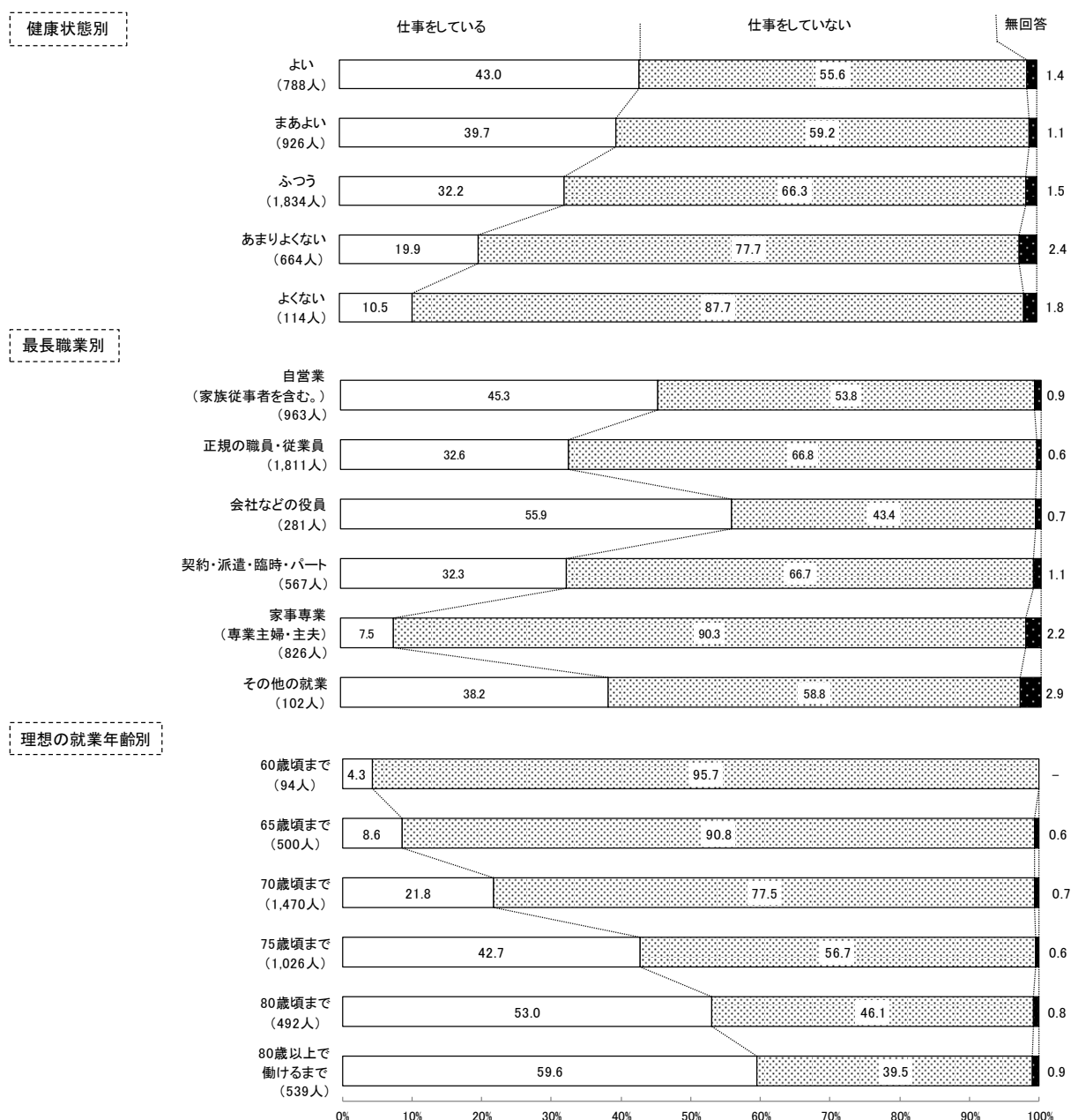
「仕事をしている」割合は、最長職業が会社などの役員では 55.9%、
自営業では 45.3%

現在の仕事の有無を健康状態別にみると、「仕事をしている」割合は、健康状態をよ
いと感じている人は 43.0%となっている。

最長職業別にみると、「仕事をしている」割合は、会社などの役員では 55.9%、自営
業では 45.3%となっている。

理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）別にみると、「仕事をしている」
割合は、80歳以上で働けるまでと考える人が 59.6%で、最も高くなっている。（図 9-4）

図 9-4 現在の仕事の有無—健康状態、最長職業、理想の就業年齢別

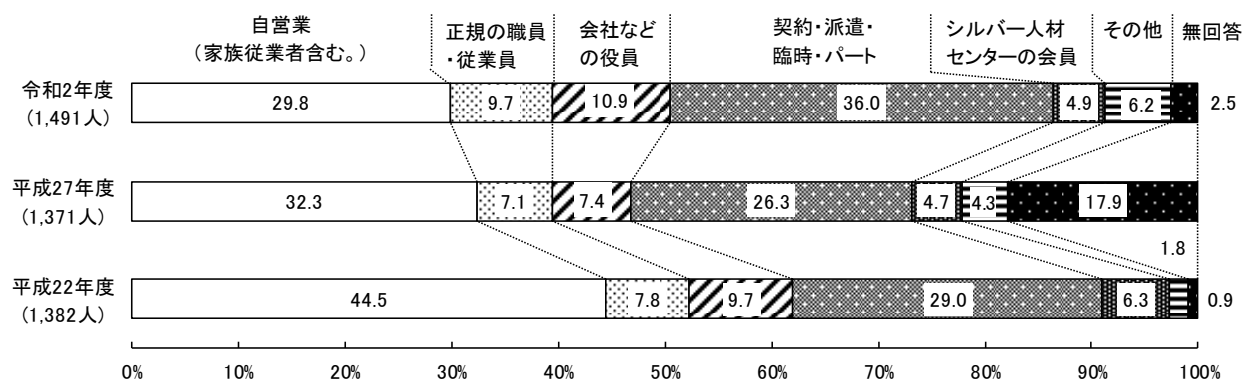


3 現在の仕事の就労形態

就労形態は、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が最も高く、36.0%

収入のある仕事をしている人(1,491人)に仕事(複数している場合は、収入の最も多いもの)の就労形態を聞いたところ、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が36.0%で最も高く、次いで「自営業(家族従業者を含む)」が29.8%となっている。(図9-5)

図9-5 現在の仕事の就労形態—過去調査との比較



(1) 現在の仕事の就労形態－性・年齢階級、最長職業別

男女とも、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」の割合が高い

現在の仕事の就労形態を性別で見ると、男女とも、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が最も高く（男性 30.3%、女性 44.4%）、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」（男性 28.5%、女性 31.7%）となっている。

性・年齢階級別で見ると、「正規の職員・従業員」の割合は、男性の 65 歳～69 歳は 22.8%で、他の年齢階級と比べて高くなっている。（表 9-2）

表 9-2 現在の仕事の就労形態－性・年齢階級、最長職業別

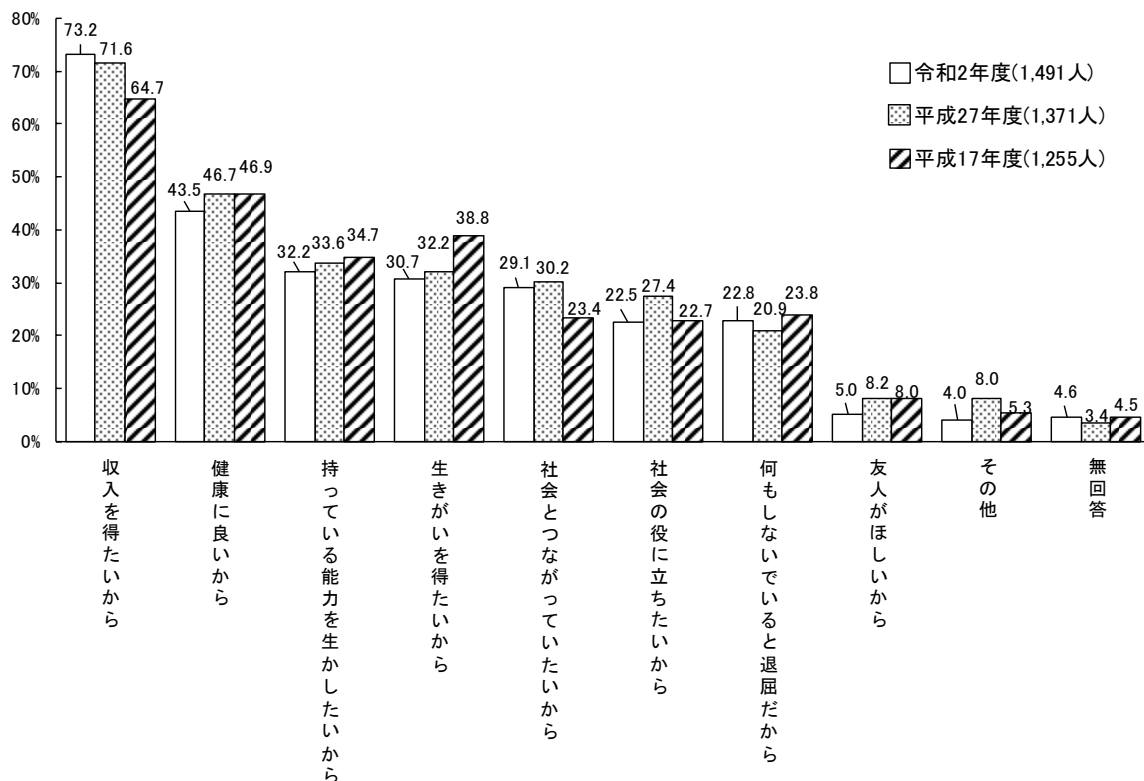
		総数	自営業者 （家族従業者を含む。）	正規の職員・従業員	会社などの役員	契約・派遣・臨時・パート	シルバー人材センターの会員	その他	無回答
総数		100.0 (1,491)	29.8	9.7	10.9	36.0	4.9	6.2	2.5
性・年齢階級別	男	100.0 (885)	<u>28.5</u>	12.9	15.0	<u>30.3</u>	6.2	5.0	2.1
	65～69歳	100.0 (320)	23.1	<u>22.8</u>	12.5	33.8	2.8	3.4	1.6
	70～74歳	100.0 (302)	23.2	7.3	16.9	41.4	5.6	3.3	2.3
	75歳以上	100.0 (263)	41.1	7.2	16.0	13.3	11.0	8.7	2.7
	女	100.0 (606)	<u>31.7</u>	5.0	4.8	<u>44.4</u>	3.0	8.1	3.1
	65～69歳	100.0 (208)	19.7	9.1	3.8	59.1	1.0	4.3	2.9
	70～74歳	100.0 (201)	30.3	3.0	4.5	50.2	2.0	8.0	2.0
	75歳以上	100.0 (197)	45.7	2.5	6.1	22.8	6.1	12.2	4.6
最長職業別	自営業（家族従業者を含む。）	100.0 (436)	72.7	1.6	2.8	13.8	3.4	4.1	1.6
	正規の職員・従業員	100.0 (590)	12.2	21.0	4.9	47.3	7.3	5.6	1.7
	会社などの役員	100.0 (157)	7.6	4.5	73.9	5.1	1.3	1.9	5.7
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (183)	3.3	1.1	0.5	85.8	2.2	3.3	3.8
	家事専業（専業主婦・主夫）	100.0 (62)	41.9	1.6	1.6	30.6	11.3	12.9	-
	その他の就業	100.0 (39)	10.3	2.6	5.1	20.5	-	56.4	5.1

4 仕事をしている理由〔複数回答〕

仕事をしている理由は、「収入を得たいから」の割合が最も高く、73.2%、

収入のある仕事をしている人(1,491人)に仕事をしている理由を聞いたところ、「収入を得たいから」の割合が73.2%で最も高く、次いで「健康に良いから」が43.5%となっている。(図9-6)

図9-6 仕事をしている理由〔複数回答〕一過去調査との比較



(1) 仕事をしている理由〔複数回答〕

－性・年齢階級、健康状態、現在の仕事の就労形態別

男女とも、「収入を得たいから」の割合が最も高く、それぞれ76.7%、68.2%

仕事をしている理由を性別で見ると、男女とも、「収入を得たいから」の割合が最も高く(男性76.7%、女性68.2%)、次いで「健康に良いから」(男性45.0%、女性41.3%)となっている。

性・年齢階級別にみると、男女とも、いずれの年齢階級においても、「収入を得たいから」の割合が最も高く(56.9%～81.3%)、特に65～69歳の年齢階級では、男性81.3%、女性80.3%と8割を超えている。

現在の仕事内容別にみると、「収入を得たいから」の割合は、正規の職員・従業員の人82.6%、契約・派遣・臨時・パートの人81.6%と8割を超えている。またシルバー人材センターの会員の人では「健康に良いから」の割合が63.0%となっている。(表9-3)

表 9-3 仕事をしている理由〔複数回答〕

－性・年齢階級、健康状態、現在の仕事の就労形態別

		総数	収入を得たいから	健康に良いから	生かしている能力を	生きがいを得たい	社会の役に立ちたい	社会とつながって	友人がほしいから	何もしないでいる	その他	無回答
総数		100.0 (1,491)	73.2	43.5	32.2	30.7	22.5	29.1	5.0	22.8	4.0	4.6
性・年齢階級別	男	100.0 (885)	76.7	45.0	35.6	30.3	24.0	27.7	6.7	25.4	2.5	3.4
	65～69歳	100.0 (320)	81.3	42.2	38.8	26.2	20.6	28.1	6.6	27.2	2.8	3.4
	70～74歳	100.0 (302)	80.8	47.7	36.8	32.5	29.1	29.1	6.0	27.2	2.0	1.7
	75歳以上	100.0 (263)	66.5	45.2	30.4	32.7	22.1	25.5	7.6	21.3	2.7	5.3
	女	100.0 (606)	68.2	41.3	27.2	31.2	20.5	31.2	2.6	19.0	6.1	6.4
	65～69歳	100.0 (208)	80.3	36.5	27.9	27.9	18.8	35.6	2.4	19.7	5.8	2.4
	70～74歳	100.0 (201)	66.7	49.3	29.4	33.3	24.4	33.8	3.5	22.4	7.5	4.0
	75歳以上	100.0 (197)	56.9	38.1	24.4	32.5	18.3	23.9	2.0	14.7	5.1	13.2
健康状態別	よい	100.0 (339)	71.4	47.8	43.1	37.2	31.9	34.8	5.9	20.1	2.9	0.6
	まあよい	100.0 (368)	76.9	51.9	33.4	34.0	25.3	33.2	4.9	25.0	3.5	1.6
	ふつう	100.0 (591)	76.5	43.1	30.8	29.4	19.1	26.6	4.6	24.9	4.4	3.2
	あまりよくない	100.0 (132)	73.5	28.0	15.9	17.4	12.9	23.5	6.8	20.5	6.8	5.3
	よくない	100.0 (12)	50.0	8.3	25.0	25.0	16.7	8.3	-	8.3	-	16.7
現在の仕事の就労形態別	自営業(家族従事者を含む。)	100.0 (444)	73.4	32.9	29.5	28.8	16.7	20.3	2.9	16.2	7.0	5.2
	正規の職員・従業員	100.0 (144)	82.6	38.9	42.4	31.9	20.1	28.5	5.6	19.4	3.5	2.8
	会社などの役員	100.0 (162)	59.3	41.4	43.8	42.0	35.8	31.5	8.0	22.2	6.2	6.2
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (537)	81.6	55.3	31.7	30.0	23.8	35.6	5.0	29.4	1.3	1.5
	シルバー人材センターの会員	100.0 (73)	60.3	63.0	16.4	34.2	24.7	42.5	9.6	38.4	-	2.7
	その他	100.0 (93)	54.8	26.9	33.3	23.7	25.8	20.4	4.3	14.0	5.4	6.5

5 非就業者の今後の就業意向

(1) 非就業者の今後の就業意向と頻度一性・年齢階級、家計の状況別

今後、「仕事をしたいと思う」人の割合は16.3%、今後も「仕事をしたいと思わない」人の割合は50.8%

収入のある仕事をしていない人(3,135人)に、今後、収入を得られる仕事をしたいか聞いたところ、「仕事をしたいと思わない」の割合が50.8%で最も高く、次いで「健康上の理由などですることができない」19.2%、「仕事をしたいと思う」16.3%となっている。

性・年齢階級別にみると、「仕事をしたいと思う」の割合は、65歳～69歳では、男性31.1%、女性29.6%となっている。

世帯の貯蓄別にみると、貯蓄はない人では、「健康上の理由などですることができない」の割合が31.6%で最も高くなっている。(表9-4)

表 9-4 非就業者の今後の就業意向と頻度一性・年齢階級、家計の状況別

	総数	仕事をしたいと思う	週5日仕事をしたいと思う	週3～4日仕事をしたいと思う	週1～2日仕事をしたいと思う	月1～2日仕事をしたいと思う	仕事をしたいと思わない	健康上の理由などですることができない	無回答	
総数	100.0 (3,135)	16.3	0.9	4.4	8.3	2.7	50.8	19.2	13.7	
性・年齢階級別	男	100.0 (1,227)	18.7	1.4	6.0	9.4	1.9	50.0	20.5	10.8
	65～69歳	100.0 (167)	31.1	4.8	13.8	11.4	1.2	41.9	22.2	4.8
	70～74歳	100.0 (317)	25.6	2.2	9.8	12.0	1.6	52.7	16.1	5.7
	75～79歳	100.0 (303)	19.5	0.3	4.0	11.9	3.3	51.8	20.5	8.3
	80～84歳	100.0 (226)	12.4	0.4	3.5	6.6	1.8	53.1	19.9	14.6
	85歳以上	100.0 (214)	4.2	-	-	3.3	0.9	46.7	26.2	22.9
	女	100.0 (1,908)	14.8	0.6	3.4	7.6	3.2	51.3	18.3	15.6
	65～69歳	100.0 (277)	29.6	2.5	6.9	14.4	5.8	52.7	13.0	4.7
	70～74歳	100.0 (472)	22.9	0.4	5.1	12.7	4.7	57.8	13.8	5.5
	75～79歳	100.0 (450)	11.8	0.2	2.9	6.0	2.7	56.4	20.4	11.3
	80～84歳	100.0 (361)	7.8	0.3	2.2	3.0	2.2	47.4	24.1	20.8
85歳以上	100.0 (348)	3.4	-	0.3	2.0	1.1	38.5	20.1	37.9	
世帯の貯蓄別	貯蓄はない	100.0 (376)	19.1	2.1	6.1	8.5	2.4	29.8	31.6	19.4
	100万円未満	100.0 (207)	19.3	1.9	5.8	8.2	3.4	34.8	25.6	20.3
	100万円以上 200万円未満	100.0 (160)	20.6	1.9	6.9	10.0	1.9	38.1	24.4	16.9
	200万円以上 300万円未満	100.0 (161)	18.6	0.6	8.1	9.3	0.6	36.6	24.8	19.9
	300万円以上 400万円未満	100.0 (129)	16.3	-	6.2	7.0	3.1	50.4	22.5	10.9
	400万円以上 500万円未満	100.0 (192)	21.9	0.5	5.7	13.0	2.6	48.4	18.2	11.5
	500万円以上 1,000万円未満	100.0 (441)	17.7	0.2	5.0	9.1	3.4	49.7	20.2	12.5
	1,000万円以上 2,000万円未満	100.0 (465)	17.0	0.9	3.0	9.7	3.4	56.3	15.5	11.2
	2,000万円以上 3,000万円未満	100.0 (284)	12.7	0.4	3.9	6.0	2.5	64.8	14.8	7.7
	3,000万円以上	100.0 (514)	12.3	0.8	1.9	7.0	2.5	69.3	10.3	8.2

6 就業意向はあるが就業していない理由

(1) 就業意向はあるが就業していない理由一性、年齢階級、最長職業別

「年齢制限で働くところが見つからないから」の割合が最も高く、約3割

収入のある仕事をしたいと思っている人(512人)に、仕事をしていない理由を聞いたところ、「年齢制限で働くところが見つからないから」の割合が30.9%で最も高く、次いで「希望や条件に合う働くところがないから」が21.5%となっている。

年齢階級別にみると、75～84歳では「年齢制限で働くところが見つからないから」の割合が46.4%で最も高くなっている。(表9-5)

表9-5 就業意向はあるが就業していない理由一性、年齢階級、最長職業別

		総数	希望や条件に合う働くところがないから	年齢制限で働くところが見つからないから	体力的に働くのはきついから	家事・育児・介護に時間がないから	その他	特に理由はない	無回答
総数		100.0 (512)	21.5	30.9	13.5	7.4	9.0	10.7	7.0
性別	男	100.0 (229)	23.6	29.7	14.0	5.2	10.0	13.1	4.4
	女	100.0 (283)	19.8	31.8	13.1	9.2	8.1	8.8	9.2
年齢階級別	65～74歳	100.0 (323)	24.8	22.9	13.3	9.0	11.1	10.8	8.0
	75～84歳	100.0 (168)	16.7	46.4	13.1	3.6	5.4	10.1	4.8
	85歳以上	100.0 (21)	9.5	28.6	19.0	14.3	4.8	14.3	9.5
最長職業別	自営業(家族従事者を含む。)	100.0 (90)	15.6	30.0	18.9	2.2	11.1	12.2	10.0
	正規の職員・従業員	100.0 (227)	23.3	32.2	10.6	5.7	9.7	11.9	6.6
	会社などの役員	100.0 (19)	21.1	10.5	26.3	-	15.8	26.3	-
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (77)	23.4	37.7	10.4	9.1	6.5	5.2	7.8
	家事専業(専業主婦・主夫)	100.0 (80)	22.5	21.3	16.3	16.3	6.3	10.0	7.5

(注) 最長職業のうち、「その他の就業」については、母集団が4人のため省略した。

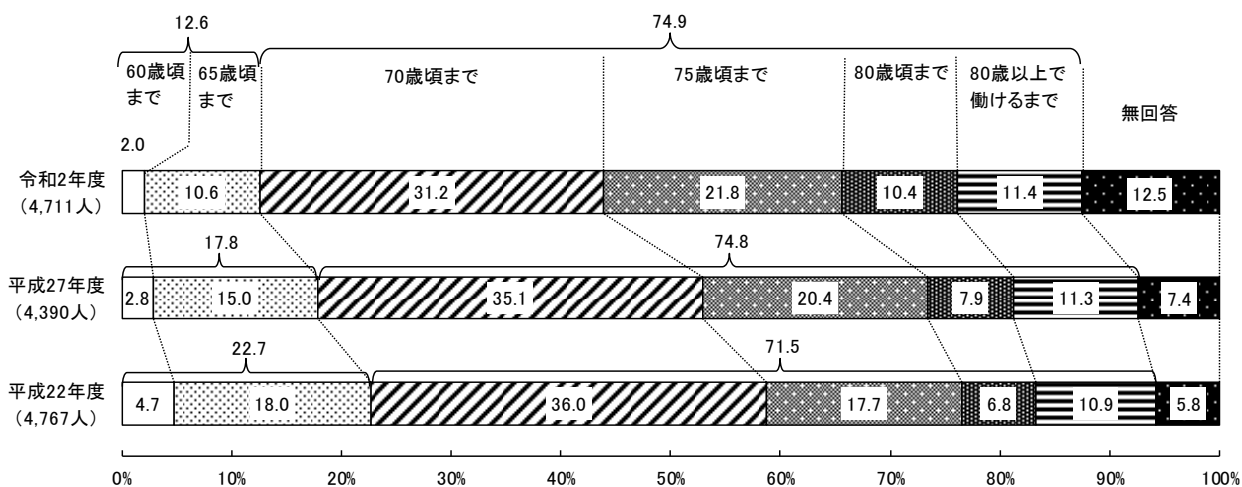
7 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）

「70歳頃まで」の割合が約3割

何歳頃まで働ける社会が理想であるか聞いたところ、「70歳頃まで」の割合が31.2%で最も高く、次いで「75歳頃まで」が21.8%となっている。

「70歳頃まで」、「75歳頃まで」、「80歳頃まで」、「80歳以上で働けるまで」を合わせた割合は74.9%となっている。一方、「60歳頃まで」と「65歳頃まで」を合わせた割合は12.6%となっている。（図9-7）

図9-7 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）—過去調査との比較



(1) 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）－性・年齢階級、最長職業別

男女とも「70歳頃まで」働ける社会が理想の割合が最も高く約3割

何歳頃まで働ける社会が理想かを性別で見ると、男女とも「70歳頃まで」の割合が最も高く3割を超えている（男性31.3%、女性31.1%）。

性・年齢階級別にみると、70～74歳女性を除く全ての年齢階級で「70歳頃まで」の割合が最も高くなっている（22.1%～37.5%）。また、70～74歳女性では「75歳頃まで」の割合が30.6%で最も高くなっている。（表9-6）

表9-6 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）－性・年齢階級、最長職業別

		総数	60歳頃まで	65歳頃まで	70歳頃まで	75歳頃まで	80歳頃まで	80歳以上で働けるまで	無回答
総数		100.0 (4,711)	2.0	10.6	31.2	21.8	10.4	11.4	12.5
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	1.8	9.3	<u>31.3</u>	22.3	12.8	13.0	9.5
	65～69歳	100.0 (492)	2.6	11.4	<u>37.2</u>	26.0	5.7	11.2	5.9
	70～74歳	100.0 (622)	2.7	10.9	<u>26.7</u>	26.0	17.0	11.1	5.5
	75～79歳	100.0 (460)	0.9	9.1	<u>29.8</u>	18.0	17.2	15.4	9.6
	80～84歳	100.0 (307)	1.0	6.2	<u>32.2</u>	17.3	12.4	17.9	13.0
	85歳以上	100.0 (257)	0.8	5.1	<u>33.1</u>	19.5	8.9	10.9	21.8
	女	100.0 (2,573)	2.1	11.7	<u>31.1</u>	21.4	8.5	10.1	15.0
	65～69歳	100.0 (489)	1.8	16.6	<u>37.4</u>	24.7	5.1	9.6	4.7
	70～74歳	100.0 (682)	2.9	13.5	26.8	<u>30.6</u>	11.1	9.1	5.9
	75～79歳	100.0 (576)	1.4	8.3	<u>37.5</u>	16.5	12.2	10.9	13.2
	80～84歳	100.0 (437)	1.4	11.4	<u>30.2</u>	17.6	5.5	11.9	22.0
	85歳以上	100.0 (389)	3.1	8.0	<u>22.1</u>	12.3	5.9	9.5	39.1
最長職業別	自営業（家族従事者を含む。）	100.0 (963)	1.2	6.0	24.0	23.1	13.6	15.8	16.3
	正規の職員・従業員	100.0 (1,811)	2.2	13.3	34.6	22.3	10.2	10.4	7.1
	会社などの役員	100.0 (281)	1.4	5.7	33.5	18.5	14.2	18.9	7.8
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (567)	1.6	7.9	30.2	26.3	9.7	12.3	12.0
	家事専業（専業主婦・主夫）	100.0 (826)	3.0	15.3	34.6	19.2	6.3	5.0	16.6
	仕事に就いたことはない	100.0 (32)	3.1	6.3	28.1	9.4	6.3	12.5	34.4
	その他の就業	100.0 (102)	2.9	4.9	25.5	14.7	14.7	20.6	16.7

8 収入の種類・主な収入源

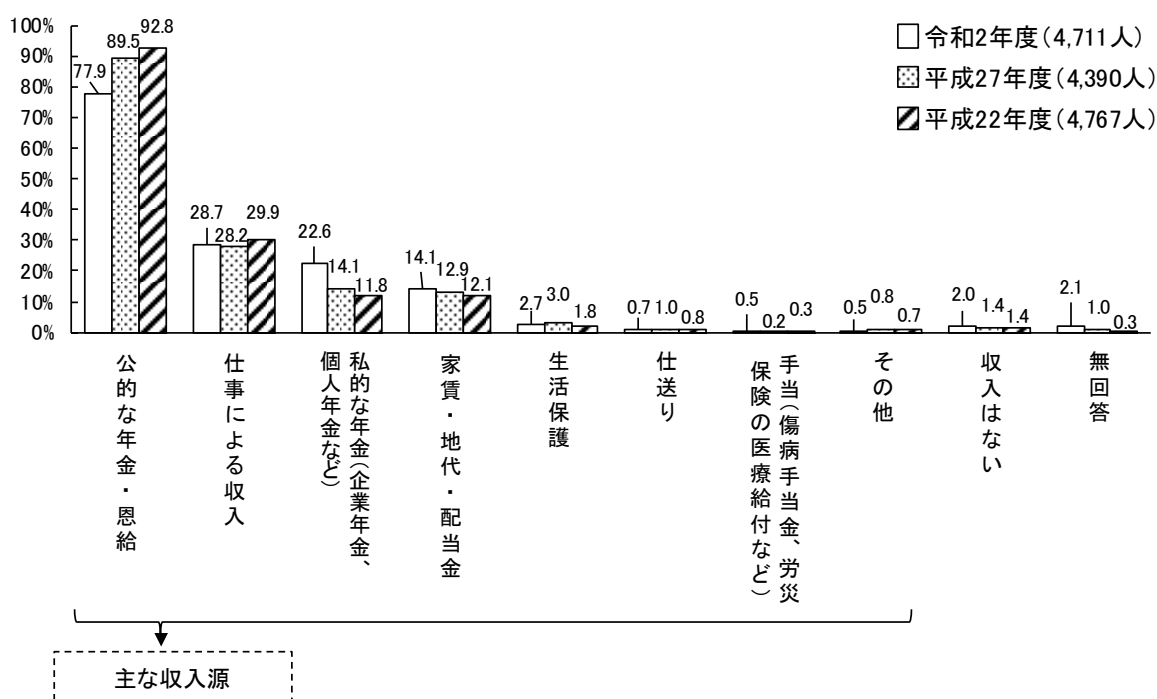
主な収入源は、「公的な年金・恩給」の割合が最も高く、6割

2019年中の収入の種類を聞いたところ、「公的な年金・恩給」の割合が77.9%で最も高く、次いで「仕事による収入」が28.7%、「私的な年金（企業年金、個人年金など）」が22.6%となっている。

平成27年度調査と比べて、「公的な年金・恩給」の割合は11.6ポイント減少している一方、「私的な年金（企業年金、個人年金など）」が8.5ポイント増加している。

また、収入がある人（4,515人）に主な収入源を聞いたところ、「公的な年金・恩給」の割合が60.0%で最も高く、次いで「仕事による収入」が16.9%となっている。（図9-8）

図9-8 収入の種類〔複数回答〕・主な収入源 — 過去調査との比較



	総数	公的な年金・恩給	仕事による収入	私的な年金（企業年金、個人年金など）	家賃・地代・配当金	生活保護	仕送り	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	その他	無回答
令和2年度	100.0 (4,515)	60.0	16.9	6.8	5.3	2.1	0.2	0.2	0.3	8.2
平成27年度	100.0 (4,283)	69.9	16.3	2.2	6.9	2.6	0.3	0.0	0.4	1.4
平成22年度	100.0 (4,686)	73.7	15.3	1.8	6.2	1.6	0.3	0.1	0.3	0.6

(1) 収入の種類〔複数回答〕

－性・年齢階級、世帯構成（世代）、現在の仕事の有無・就労形態別

男女とも、いずれの年齢階級においても「公的な年金・恩給」の割合が最も高い

収入の種類〔複数回答〕を性・年齢階級別にみると、男女とも、いずれの年齢階級においても「公的な年金・恩給」の割合が最も高くなっている。(65.2%～83.0%)。また、「仕事による収入」の割合は、65～69歳の男性では65.0%となっている。

世帯構成（世代）別にみると、単身世帯（ひとりぐらし）では、「生活保護」の割合が9.7%で、総数の割合(2.7%)より高くなっている。

現在の仕事の就労形態別にみると、シルバー人材センターの会員の人では「私的な年金（企業年金、個人年金など）」の割合が37.0%で、総数の割合(22.6%)より高くなっている。(表9-7)

表9-7 収入の種類〔複数回答〕

－性・年齢階級、世帯構成（世代）、現在の仕事の有無・就労形態別

	総数	公的な年金・恩給	私的な年金（企業年金、個人年金など）	仕事による収入	家賃・地代・配当金	仕送り	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	生活保護	その他	収入はない	無回答	
総数	100.0 (4,711)	77.9	22.6	28.7	14.1	0.7	0.5	2.7	0.5	2.0	2.1	
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	76.1	26.1	38.6	16.9	0.3	0.7	3.4	0.2	1.3	1.9
	65～69歳	100.0 (492)	65.2	27.6	65.0	16.1	0.6	1.0	4.1	0.2	0.6	1.4
	70～74歳	100.0 (622)	79.6	29.7	45.3	17.5	0.3	0.6	3.7	0.2	1.1	1.3
	75～79歳	100.0 (460)	77.0	25.9	30.7	16.7	-	-	4.1	-	1.3	2.2
	80～84歳	100.0 (307)	80.8	20.8	19.9	16.0	-	0.7	2.0	0.7	1.3	2.3
	85歳以上	100.0 (257)	81.7	20.6	8.6	18.7	0.8	1.2	1.6	0.4	2.7	3.1
	女	100.0 (2,573)	79.3	19.7	20.5	11.8	1.0	0.4	2.1	0.7	2.7	2.3
	65～69歳	100.0 (489)	75.5	23.7	41.5	12.3	0.6	0.6	0.8	1.2	2.5	0.6
	70～74歳	100.0 (682)	79.8	25.2	27.0	12.2	0.9	0.3	2.1	0.6	1.3	1.5
	75～79歳	100.0 (576)	81.4	18.6	15.5	10.6	0.9	0.2	3.0	0.9	2.8	2.4
	80～84歳	100.0 (437)	76.7	14.6	8.5	10.8	0.9	0.7	3.0	0.7	4.1	3.7
85歳以上	100.0 (389)	83.0	12.3	3.6	13.6	2.1	0.5	1.3	0.3	3.6	4.4	
（世帯構成）別	単身世帯（ひとりぐらし）	100.0 (1,047)	73.2	22.8	25.4	13.4	1.6	0.6	9.7	0.5	1.7	2.1
	一世帯（配偶者と二人暮らし）	100.0 (1,732)	80.8	24.5	30.3	15.1	0.2	0.5	0.8	0.3	1.7	1.8
	二世帯	100.0 (1,364)	78.3	21.6	30.4	13.0	0.7	0.7	0.4	0.7	2.6	1.9
	三世帯	100.0 (287)	80.5	19.5	26.5	15.0	0.3	0.3	-	0.7	2.1	0.7
現在の仕事の有無と就労形態別	仕事をしている	100.0 (1,491)	67.6	23.3	81.1	19.7	0.2	0.4	0.4	0.5	0.1	1.7
	自営業（家族従事者を含む。）	100.0 (444)	61.7	22.3	76.4	35.1	0.5	-	0.2	0.5	0.2	1.6
	正規の職員・従業員	100.0 (144)	57.6	17.4	91.0	6.9	-	1.4	-	-	-	2.1
	会社などの役員	100.0 (162)	62.3	24.1	94.4	24.1	-	-	-	-	0.6	0.6
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (537)	74.1	23.6	86.4	6.9	0.2	0.4	0.9	0.2	-	1.5
	シルバー人材センターの会員	100.0 (73)	72.6	37.0	65.8	15.1	-	-	-	1.4	-	6.8
	その他	100.0 (93)	74.2	25.8	48.4	37.6	-	1.1	-	3.2	-	1.1
	仕事をしていない	100.0 (3,135)	83.7	22.6	4.4	11.5	0.9	0.6	3.7	0.5	3.0	1.3

(2) 主な収入源一性・年齢階級別

男女とも「公的な年金・恩給」の割合が最も高いが、65～69歳男性では「仕事による収入」が4割超

主な収入源を性別にみると、男女とも、「公的な年金・恩給」の割合が最も高くなっている（男性53.0%、女性65.9%）。

性・年齢階級別にみると、65～69歳男性では、「仕事による収入」の割合が、45.4%で最も高くなっている。（表9-8）

表 9-8 主な収入源一性・年齢階級別

		総数	公的な年金・恩給	個人的な年金など（企業年金、個人年金など）	仕事による収入	家賃・地代・配当金	仕送り	保険の（傷病手当金、労災手当、医療給付など）	生活保護	その他	無回答
総数		100.0 (4,515)	60.0	6.8	16.9	5.3	0.2	0.2	2.1	0.3	8.2
性・年齢階級別	男	100.0 (2,071)	<u>53.0</u>	6.3	23.1	5.6	0.0	0.3	2.6	0.0	8.9
	65～69歳	100.0 (482)	32.2	5.4	<u>45.4</u>	4.4	-	0.2	2.9	-	9.5
	70～74歳	100.0 (607)	52.4	5.8	24.1	5.8	-	0.5	2.6	-	8.9
	75～79歳	100.0 (444)	58.8	7.2	15.8	5.6	-	-	3.8	-	8.8
	80～84歳	100.0 (296)	63.9	8.4	10.1	6.8	-	0.7	2.0	-	8.1
	85歳以上	100.0 (242)	71.9	5.4	5.8	6.6	0.4	-	0.4	0.4	9.1
	女	100.0 (2,444)	<u>65.9</u>	7.3	11.7	5.0	0.4	0.1	1.7	0.5	7.5
	65～69歳	100.0 (474)	50.0	5.7	27.4	6.5	0.4	0.2	0.6	1.1	8.0
	70～74歳	100.0 (663)	63.3	8.3	14.5	4.4	0.3	0.2	2.0	0.2	6.9
	75～79歳	100.0 (546)	69.2	7.1	7.0	4.4	0.4	-	2.6	0.5	8.8
	80～84歳	100.0 (403)	71.7	8.4	4.2	5.2	0.2	0.2	2.2	0.2	7.4
85歳以上	100.0 (358)	79.9	6.4	1.1	4.7	0.8	-	0.8	0.3	5.9	

(3) 主な収入源－現在の仕事の有無・就労形態、本人の年収別

年収が500万円未満の人は「公的な年金・恩給」の割合が最も高い

主な収入源を現在の仕事の有無別にみると、仕事をしている人は「仕事による収入」である割合は47.1%となっている。

現在の仕事の就労形態別にみると、自営業（家族従業者を含む。）、正規の職員・従業員、会社などの役員、契約・派遣・臨時・パートでは「仕事による収入」の割合が最も高いが（40.8%～73.1%）、シルバー人材センターの会員では、「公的な年金・恩給」の割合が61.8%と最も高くなっている。

本人の年収別にみると、年収が500万円未満の人は「公的な年金・恩給」の割合が最も高くなっている（45.5%～78.0%）。一方、年収が500万円以上の人は「仕事による収入」の割合が最も高くなっている（36.6%～60.3%）。（表9-9）

表 9-9 主な収入源－現在の仕事の有無・就労形態、本人の年収別

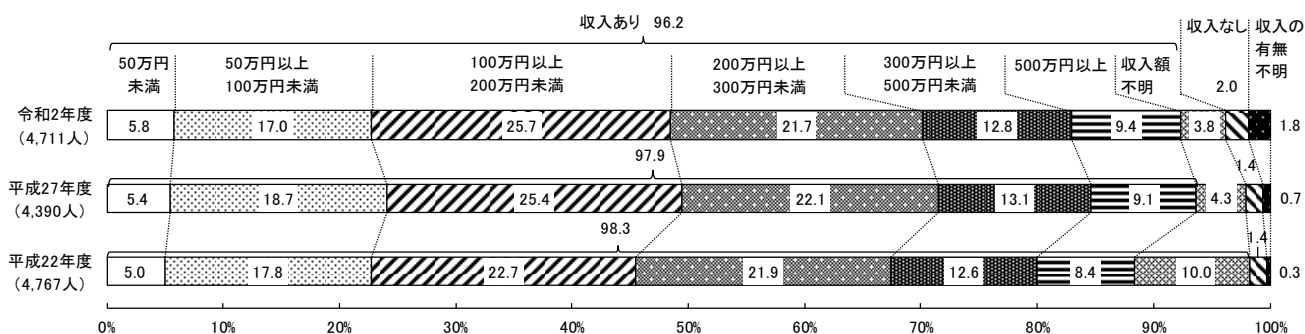
		総数	公的な年金・恩給	個人的な年金など（企業年金、個人年金など）	仕事による収入	家賃・地代・配当金	仕送り	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	生活保護	その他	無回答
総数		100.0 (4,515)	60.0	6.8	16.9	5.3	0.2	0.2	2.1	0.3	8.2
現在の仕事の有無と就労形態別	仕事をしている	100.0 (1,463)	26.8	4.4	<u>47.1</u>	8.4	0.1	0.1	0.3	0.1	12.9
	自営業（家族従業者を含む。）	100.0 (436)	15.1	2.8	<u>49.8</u>	18.8	0.2	-	-	-	13.3
	正規の職員・従業員	100.0 (141)	14.2	0.7	<u>71.6</u>	-	-	0.7	-	-	12.8
	会社などの役員	100.0 (160)	10.6	1.9	<u>73.1</u>	3.1	-	-	-	-	11.3
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (529)	37.2	6.4	<u>40.8</u>	1.3	-	-	0.8	-	13.4
	シルバー人材センターの会員	100.0 (68)	<u>61.8</u>	16.2	8.8	2.9	-	-	-	-	10.3
	その他	100.0 (92)	40.2	3.3	17.4	25.0	-	-	-	1.1	13.0
	仕事をしていない	100.0 (2,999)	76.3	8.0	2.4	3.7	0.3	0.2	2.9	0.4	5.8
本人の年収別	50万円未満	100.0 (269)	<u>68.4</u>	11.9	7.1	2.6	1.1	0.4	3.0	1.1	4.5
	50万円以上 100万円未満	100.0 (796)	<u>78.0</u>	7.4	6.8	0.9	0.5	-	1.1	0.3	5.0
	100万円以上 150万円未満	100.0 (618)	<u>67.2</u>	8.1	10.8	1.9	-	0.2	4.9	0.2	6.8
	150万円以上 200万円未満	100.0 (588)	<u>65.5</u>	7.3	13.9	3.1	0.2	0.2	2.6	0.3	7.0
	200万円以上 250万円未満	100.0 (585)	<u>71.1</u>	5.0	13.7	3.1	0.2	-	0.3	-	6.7
	250万円以上 300万円未満	100.0 (434)	<u>60.6</u>	4.8	18.9	4.1	0.2	0.5	-	-	10.8
	300万円以上 500万円未満	100.0 (602)	<u>45.5</u>	6.3	26.1	8.6	-	0.2	-	-	13.3
	500万円以上 700万円未満	100.0 (205)	28.3	4.4	<u>36.6</u>	16.1	-	-	-	0.5	14.1
	700万円以上 1000万円未満	100.0 (96)	4.2	4.2	<u>49.0</u>	29.2	-	-	-	1.0	12.5
	1,000万円以上	100.0 (141)	2.1	1.4	<u>60.3</u>	25.5	-	-	-	1.4	9.2

9 本人の年収

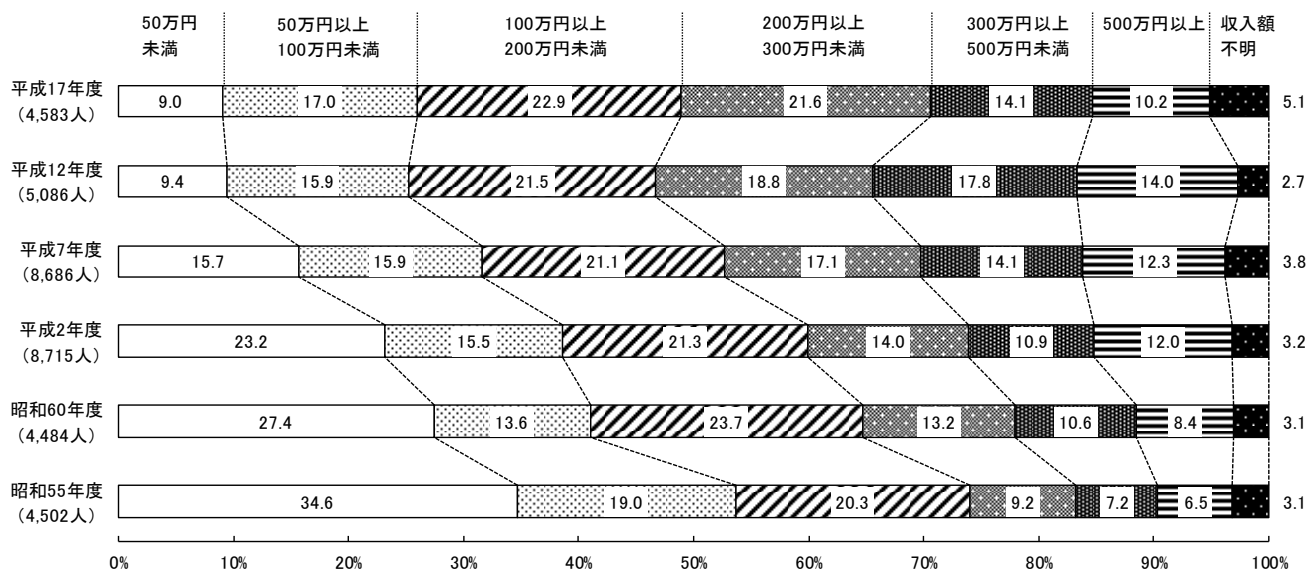
「100万円以上 200万円未満」の割合が最も高く、25.7%

対象者個人の2019年中の総収入(税込み)を聞いたところ、「100万円以上 200万円未満」の割合が25.7%で最も高く、次いで「200万円以上 300万円未満」が21.7%、「50万円以上 100万円未満」が17.0%となっている。(図9-9)

図9-9 本人の年収—過去調査との比較



【参考】



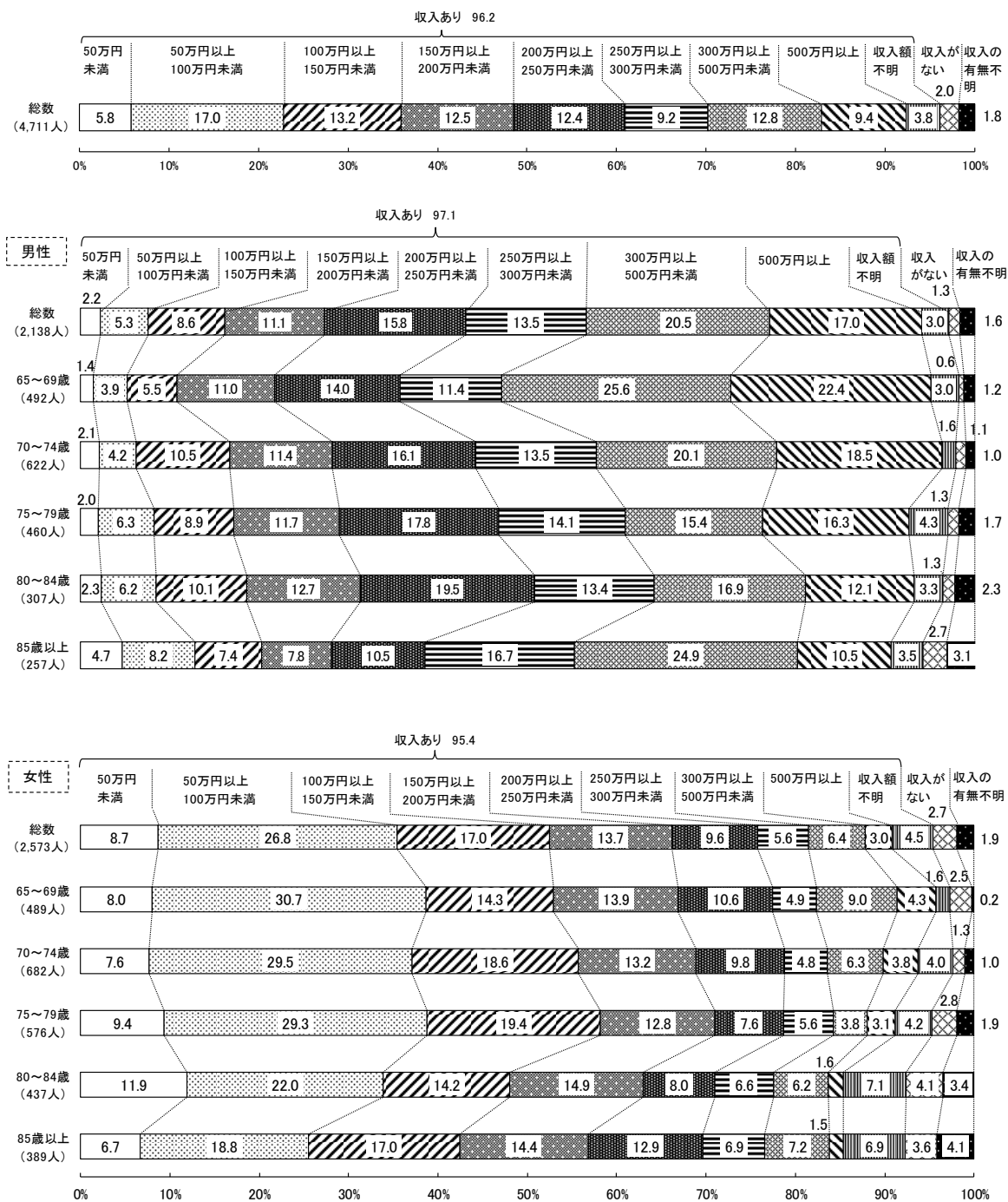
(注) 平成17年度調査以前は、質問方法が異なるため、収入のない人は、「50万円未満」又は「収入額不明」に含まれる。

(1) 本人の年収一性・年齢階級別

男性では「300万円以上 500万円未満」の割合が最も高く 20.5%、女性では「50万円以上 100万円未満」の割合が最も高く 26.8%

本人の年収を性別でみると、男性では、「300万円以上 500万円未満」の割合が 20.5% で最も高く、次いで「500万円以上」17.0%、「200万円以上 250万円未満」15.8% となっている。一方、女性では、「50万円以上 100万円未満」の割合が 26.8% で最も高く、次いで「100万円以上 150万円未満」17.0%、「150万円以上 200万円未満」13.7% となっている。(図9-10)

図9-10 本人の年収一性・年齢階級別



(2) 本人の年収－現在の仕事の有無・就労形態別

仕事をしている人は「300万円以上 500万円未満」の割合が最も高く 21.1%、仕事をしていない人は「50万円以上 100万円未満」の割合が最も高く 20.9%

本人の年収を収入のある仕事の有無別にみると、仕事をしている人は「300万円以上 500万円未満」の割合が 21.1%で最も高く、仕事をしていない人は「50万円以上 100万円未満」の割合が 20.9%で最も高くなっている。

就労形態別にみると、「年収 250万円以上」の割合は、正規の職員・従業員では 81.3%、会社などの役員では 87.7%となっている。一方、契約・派遣・臨時・パート、シルバー人材センターの会員は、「年収 250万円未満」の割合がそれぞれ 58.5%、56.2%となっている。(表 9-10)

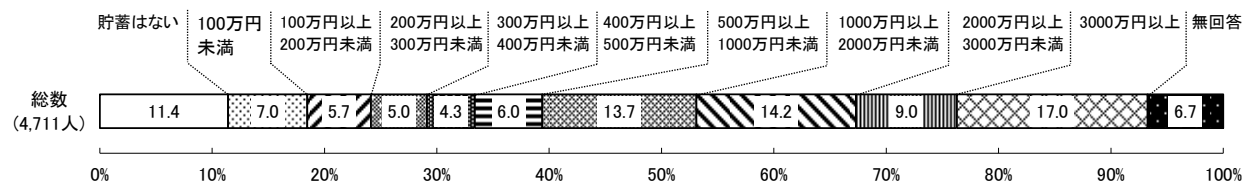
表 9-10 本人の年収－現在の仕事の有無・就労形態別

	総数	収入がある	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 150万円未満	150万円以上 200万円未満	200万円以上 250万円未満	250万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 700万円未満	700万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	収入がない	収入の有無不明	
総数	100.0 (4,711)	96.2	5.8	17.0	13.2	12.5	12.4	9.2	12.8	4.4	2.0	3.0	3.8	2.0	1.8	
現在の仕事の有無と就労形態別	仕事をしている	100.0 (1,491)	98.6	2.6	9.2	9.0	10.5	10.8	11.2	<u>21.1</u>	8.6	5.0	8.3	2.3	0.1	1.3
	自営業 (家族従業者を含む。)	100.0 (444)	98.4	3.2	8.1	8.8	9.7	9.9	9.2	19.1	8.8	7.4	10.6	3.6	0.2	1.4
	正規の職員・従業員	100.0 (144)	97.9	0.7	1.4	2.8	5.6	5.6	<u>16.0</u>	<u>36.1</u>	<u>16.7</u>	<u>6.3</u>	<u>6.3</u>	0.7	-	2.1
	会社などの役員	100.0 (162)	98.8	-	1.2	1.2	2.5	4.3	<u>6.2</u>	<u>19.1</u>	<u>16.0</u>	<u>12.3</u>	<u>34.0</u>	1.9	0.6	0.6
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (537)	99.1	<u>2.2</u>	<u>13.6</u>	<u>12.8</u>	<u>15.3</u>	<u>14.5</u>	12.1	21.2	4.7	0.7	0.6	1.3	-	0.9
	シルバー人材センターの会員	100.0 (73)	95.9	<u>5.5</u>	<u>11.0</u>	<u>6.8</u>	<u>17.8</u>	<u>15.1</u>	21.9	11.0	2.7	1.4	1.4	1.4	-	4.1
	その他	100.0 (93)	98.9	7.5	11.8	10.8	3.2	8.6	9.7	16.1	10.8	7.5	9.7	3.2	-	1.1
仕事をしていない	100.0 (3,135)	95.9	7.2	<u>20.9</u>	15.3	13.6	13.4	8.4	9.1	2.4	0.7	0.5	4.4	3.0	1.1	

10 世帯の貯蓄

対象者の世帯の貯蓄（預貯金・信託・債権・株式・保険など）はおおよそいくらか聞いたところ、「3,000万円以上」の割合が17.0%で最も高く、次いで「1,000万円以上2,000万円未満」が14.2%、「500万円以上1,000万円未満」が13.7%となっている。一方、「貯蓄はない」の割合は11.4%となっている。（図9-11）

図9-11 世帯の貯蓄



(1) 世帯の貯蓄一性・年齢階級、世帯類型別

ひとりぐらしの世帯では、「貯蓄はない」割合が18.1%

世帯の貯蓄を性別でみると、「3,000万円以上」の割合は、男性19.2%、女性15.1%となっている。

世帯類型別でみると、ひとりぐらしの世帯では、「貯蓄はない」割合が18.1%と他の世帯類型と比べ、高くなっている。(表9-11)

表9-11 世帯の貯蓄一性・年齢階級、世帯類型別

	総数	貯蓄はない	100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上 300万円未満	300万円以上 400万円未満	400万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上	無回答
総数	100.0 (4,711)	11.4	7.0	5.7	5.0	4.3	6.0	13.7	14.2	9.0	17.0	6.7
男	100.0 (2,138)	11.6	7.0	5.3	4.7	4.2	5.8	13.8	14.4	9.2	19.2	4.8
65～69歳	100.0 (492)	12.0	8.9	6.3	4.7	3.0	5.1	9.6	14.4	10.2	21.5	4.3
70～74歳	100.0 (622)	12.1	6.9	4.3	3.9	3.9	5.0	14.8	16.6	9.8	20.1	2.7
75～79歳	100.0 (460)	13.7	5.9	4.8	5.2	5.0	6.5	14.1	13.3	7.0	18.7	5.9
80～84歳	100.0 (307)	9.1	5.9	5.5	5.5	5.5	7.8	15.3	13.4	10.7	15.6	5.5
85歳以上	100.0 (257)	9.3	6.6	6.2	4.7	4.3	5.8	16.7	12.5	8.2	17.9	7.8
女	100.0 (2,573)	11.2	7.1	6.0	5.2	4.3	6.1	13.7	14.0	8.8	15.1	8.4
65～69歳	100.0 (489)	8.8	7.8	5.7	5.5	4.7	6.1	14.9	12.1	9.6	18.4	6.3
70～74歳	100.0 (682)	9.5	6.5	6.2	4.1	5.0	6.7	12.3	16.0	8.5	18.9	6.3
75～79歳	100.0 (576)	13.0	6.9	4.9	5.6	3.1	5.2	15.3	14.1	9.7	14.4	7.8
80～84歳	100.0 (437)	15.1	7.1	7.1	4.6	3.4	7.3	11.2	13.7	8.9	8.2	13.3
85歳以上	100.0 (389)	10.3	7.7	6.4	7.2	5.4	5.1	14.9	13.4	6.7	13.1	9.8
世帯類型別												
高齢者のみの世帯	100.0 (2,684)	11.7	6.5	5.3	4.6	4.1	5.6	13.3	14.7	9.4	18.6	6.2
ひとりぐらし	100.0 (1,047)	18.1	8.5	6.9	4.3	3.6	6.1	12.2	11.7	8.2	14.2	6.1
配偶者と二人暮らし	100.0 (1,480)	7.4	5.0	4.3	4.3	4.5	5.3	13.9	16.8	10.6	21.5	6.4
その他	100.0 (157)	8.9	7.0	3.2	8.9	4.5	5.7	14.6	14.6	6.4	21.0	5.1
高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,677)	10.8	8.1	6.5	5.5	4.7	6.6	14.7	14.4	7.7	14.7	6.2

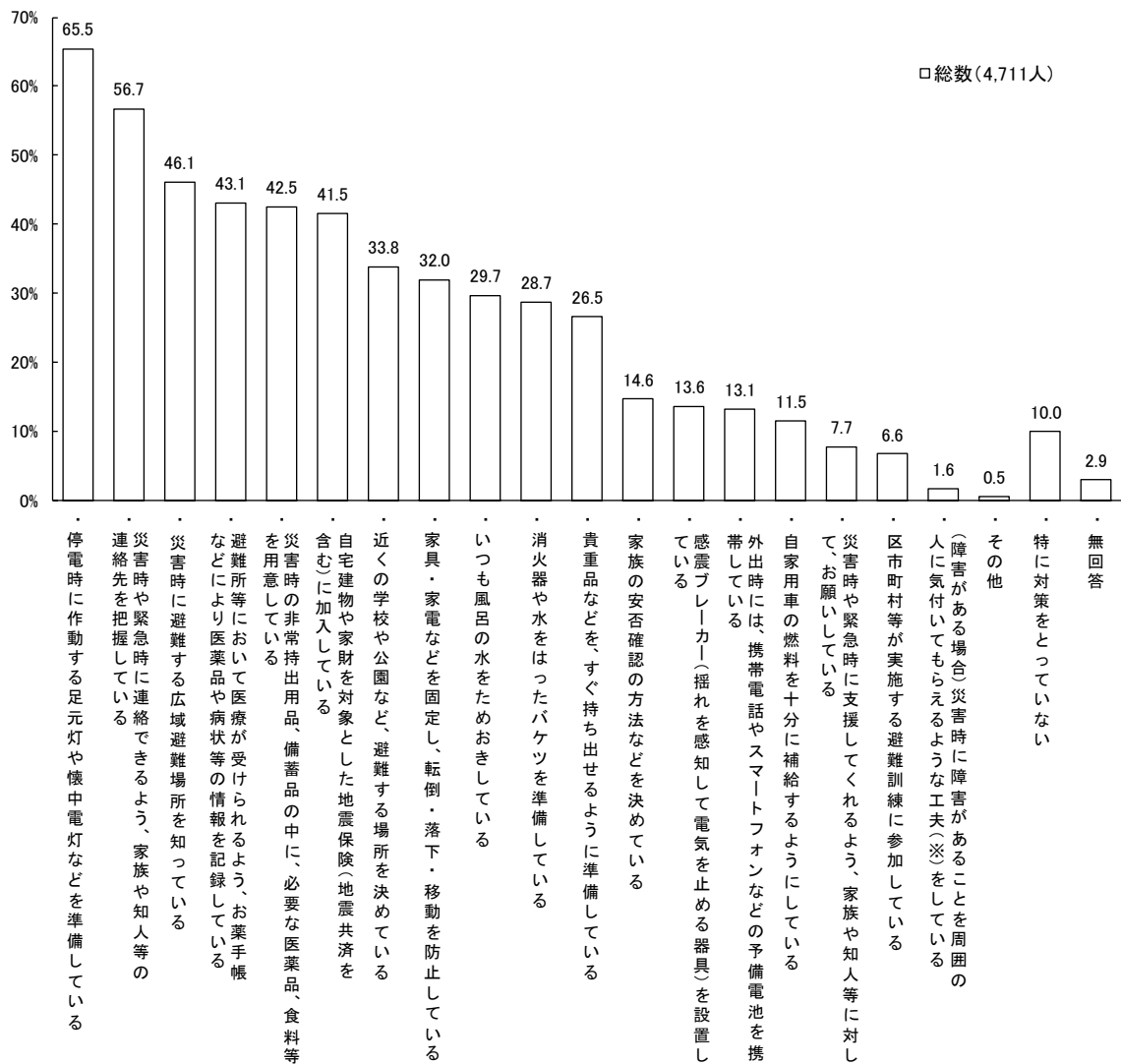
第10章 災害に備えた対策

1 災害に備えた対策〔複数回答〕

「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」の割合が最も高く、65.5%

災害に備えた対策をとっているか聞いたところ、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」の割合が65.5%で最も高く、次いで「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」が56.7%となっている。一方、「特に対策をとっていない」の割合は10.0%となっている。(図10-1)

図10-1 災害に備えた対策〔複数回答〕



(注) ※の「障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫」とは、ヘルプマーク、ヘルプカード、災害バンダナ等を指す。

(1) 災害に備えた対策〔複数回答〕一性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

男女とも「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」及び「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」の割合が高い

災害に備えた対策を性・年齢階級別にみると、男女とも「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」(男性 63.4%、女性 67.2%)の割合が最も高く、次いで「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」(男性 55.7%、女性 57.6%)となっている。また、「特に対策をとっていない」の割合は、65歳～74歳では、男性 13.7%、女性 5.9%で男性の方が7.8ポイント高くなっている。

動作能力類型別でみると、寝たきり高齢者では、「特に対策をとっていない」の割合が41.3%で最も高くなっている。

世帯類型別にみると、ひとり暮らしでは、「自宅建物や家財を対象とした地震保険(地震共済を含む)に加入している」、「家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している」の割合がそれぞれ30.7%、22.0%で、総数の割合(41.5%、32.0%)より低くなっている。(表10-1)

表 10-1 災害に備えた対策〔複数回答〕

一性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

	総数	災害時の非常持出用品、備蓄用品の中に、必要な医薬品、食料等を用意している	自家用車の燃料を十分に補給するようにしている	いつも風呂の水をためおきしている	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	連絡先を把握している	災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している	災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対して、お願いしている	家族の安否確認の方法などを決めてしている	貴重品などを、すぐ持ち出せるように準備している	災害時に避難する避難場所を知っている	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	区市町村等が実施する避難訓練に参加している	地震プレッシャー(揺れを感じて電気を止める器具)を設置している	自宅建物や家財を対象とした地震保険(地震共済を含む)に加入している	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	消火器や水をはったバケツを準備している	避難所等において医療や病状等の情報を記録している	その他	特に対策をとっていない	無回答		
総数	1000 (4,711)	42.5	11.5	29.7	65.5	56.7	7.7	14.6	26.5	46.1	33.8	6.6	13.6	41.5	32.0	28.7	43.1	1.6	13.1	0.5	10.0	2.9	
性・年齢階級別	男	1000 (2,138)	41.3	15.2	26.1	63.4	55.7	5.5	13.6	27.7	47.2	34.3	7.3	14.2	42.4	32.3	28.3	41.5	1.6	13.8	0.4	11.8	2.2
	65～74歳	1000 (1,114)	41.2	18.3	21.8	62.2	57.7	3.4	12.3	24.7	48.0	32.3	6.4	12.7	41.2	31.4	27.1	38.6	0.8	13.0	0.4	13.7	1.5
	75～84歳	1000 (767)	43.5	13.6	30.2	66.6	54.0	6.3	16.0	30.8	48.5	39.1	9.4	16.8	44.9	34.0	30.2	44.2	2.2	15.1	0.4	8.6	2.7
	85歳以上	1000 (257)	35.0	6.6	32.7	59.1	51.8	12.5	11.7	31.5	39.7	28.8	5.1	12.5	40.5	30.7	28.0	45.9	3.1	13.6	-	12.8	3.5
	女	1000 (2,573)	43.4	8.4	32.6	67.2	57.6	9.5	15.5	25.6	45.3	33.4	6.1	13.1	40.8	31.8	29.0	44.5	1.6	12.6	0.6	8.4	3.4
	65～74歳	1000 (1,171)	47.5	11.2	31.2	70.8	64.0	7.0	16.4	23.4	51.5	35.4	5.9	13.1	44.7	34.5	28.4	42.5	1.5	11.4	0.2	5.9	2.4
	75～84歳	1000 (1,013)	43.1	7.1	36.3	67.5	56.0	11.1	16.5	28.7	44.9	35.1	7.2	14.3	39.5	31.9	31.3	48.0	2.0	15.8	0.8	8.2	4.0
	85歳以上	1000 (389)	31.9	3.1	27.2	55.5	42.4	13.1	10.0	23.9	27.5	22.6	3.9	10.0	32.6	23.1	24.9	41.4	1.3	7.7	1.3	16.7	4.9
動作能力類型別	寝たきり高齢者	1000 (138)	20.3	2.2	8.0	31.9	20.3	11.6	5.1	10.1	14.5	10.9	1.4	4.3	20.3	15.2	13.0	27.5	2.2	2.2	2.9	41.3	5.8
	寝たきりに近い高齢者	1000 (256)	27.7	5.5	25.4	51.6	42.6	14.8	8.6	22.3	26.2	22.3	2.3	9.8	35.9	30.1	20.3	44.1	4.7	8.2	1.2	14.5	3.5
	比較的重い障害のある高齢者	1000 (661)	35.1	8.3	29.7	64.4	48.4	6.4	13.6	22.2	40.4	31.2	5.0	14.4	38.1	27.2	25.4	41.1	2.6	13.0	0.8	12.3	3.3
	軽い障害のある高齢者	1000 (1,345)	44.8	12.3	31.3	67.6	59.6	7.1	14.6	28.0	47.9	35.9	5.7	13.8	43.5	33.4	30.1	45.0	1.3	12.2	0.3	7.1	2.5
	障害のない高齢者	1000 (2,040)	48.3	14.1	30.5	69.2	63.8	7.3	16.8	28.7	53.3	37.0	8.6	14.1	44.7	35.5	31.1	44.4	1.2	14.4	0.3	8.4	1.9
世帯類型別	高齢者のみの世帯	1000 (2,684)	42.7	10.5	29.8	66.3	58.4	8.6	13.3	26.8	47.1	33.5	6.7	14.0	39.6	32.0	28.6	43.9	1.6	12.7	0.3	10.2	2.8
	ひとり暮らし	1000 (1,047)	35.2	5.8	23.9	59.8	51.3	8.4	9.8	23.1	37.8	27.5	5.5	12.0	30.7	22.0	22.1	37.3	1.4	12.4	0.5	15.5	3.0
	配偶者と二人暮らし	1000 (1,480)	48.5	13.7	33.6	70.7	63.8	8.7	16.1	29.9	53.9	38.2	8.0	15.7	46.0	39.1	32.4	48.8	1.7	13.1	0.2	6.4	2.5
	その他	1000 (157)	36.9	12.1	33.1	68.2	54.8	8.9	8.9	21.0	45.9	28.7	2.5	10.8	38.9	33.1	36.3	40.8	1.3	10.8	-	10.2	3.8
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	1000 (1,677)	42.5	13.5	30.5	66.1	56.2	6.6	16.8	26.1	47.5	35.4	6.9	12.7	45.1	32.3	29.2	43.4	1.6	13.1	0.5	9.7	2.1

(注) ※の「障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫」とは、ヘルプマーク、ヘルプカード、災害バンドナ等を指す。

第11章 東京都への要望等

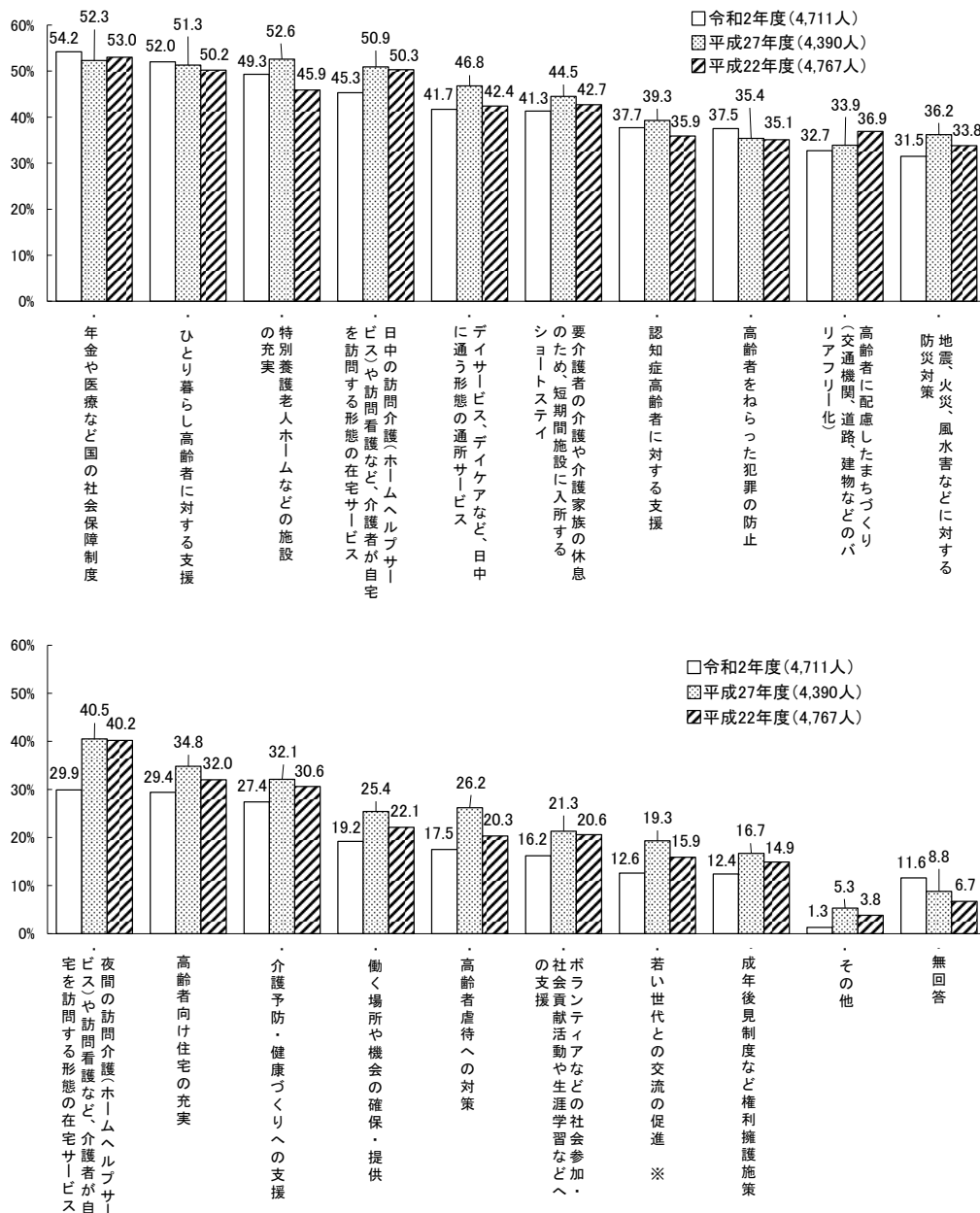
1 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕

「年金や医療など国の社会保障制度」の割合が最も高く、54.2%

大切だと思う高齢者に対する施策や支援は何か聞いたところ、「年金や医療など国の社会保障制度」の割合が54.2%で最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する支援」が52.0%、「特別養護老人ホームなどの施設の充実」が49.3%となっている。

平成27年度調査と比べて、「夜間の訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護など、介護者が自宅を訪問する形態の在宅サービス」の割合は10.6ポイント減少し、29.9%となっている。（図11-1）

図11-1 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕



（注）※は、平成22年度調査では、「世代間交流の促進」としていた。

(1) 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕－性・年齢階級、世帯構成（世代）別

男女とも「年金や医療など国の社会保障制度」及び「ひとり暮らし高齢者に対する支援」の割合が高い

大切だと思う高齢者に対する必要な施策や支援について、性・年齢階級別にみると、男女とも「年金や医療など国の社会保障制度」（男性 54.5%、女性 53.9%）の割合が最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する支援」（男性 51.0%、女性 52.8%）、「特別養護老人ホームなどの施設の充実」（男性 48.5%、女性 50.0%）となっている。

また、「要介護者の介護や介護家族の休息のため、短期間施設に入所するショートステイ」の割合は、65～74歳では、男性 39.5%、女性 55.7%で、女性の方が 16.2 ポイント高くなっている。

世帯構成（世代）別にみると、単身世帯（ひとり暮らし）では、「ひとり暮らし高齢者に対する支援」の割合が 61.7%となっている。（表 11-1）

表 11-1 高齢者に対する必要な施策や支援〔複数回答〕

－性・年齢階級、世帯構成（世代）別

		総数	年金や医療など国の社会保障制度	ひとり暮らし高齢者に対する支援	特別養護老人ホームなどの施設の充実	認知症高齢者に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する支援	高齢者虐待への対策	介護予防・健康づくりへの支援	習などへの支援	ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習	働く場所や機会の確保・提供	高齢者向け住宅の充実	高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）	成年後見制度など権利擁護施策	高齢者をねらった犯罪の防止	地震、火災、風水害などに対する防災対策	年金や医療など国の社会保障制度	若い世代との交流の促進	その他	無回答	
総数		100.0 (4,711)	45.3	29.9	41.7	41.3	49.3	37.7	52.0	17.5	27.4	16.2	19.2	29.4	32.7	12.4	37.5	31.5	54.2	12.6	1.3	11.6
性・年齢階級別	男	100.0 (2,138)	44.0	27.0	37.6	36.0	48.5	36.2	51.0	15.0	26.1	16.4	21.9	28.6	31.0	11.6	36.1	30.8	54.5	11.4	1.3	9.4
	65～74歳	100.0 (1,114)	46.9	28.5	39.9	39.5	52.2	37.6	55.1	15.9	26.6	18.5	28.2	32.0	32.3	12.7	36.4	30.9	57.8	12.1	1.5	5.7
	75歳以上	100.0 (1,024)	40.9	25.4	35.0	32.2	44.4	34.7	46.5	14.0	25.7	14.2	15.0	24.9	29.6	10.4	35.7	30.8	50.9	10.5	1.1	13.5
	女	100.0 (2,573)	46.3	32.3	45.2	45.6	50.0	38.9	52.8	19.7	28.4	16.1	17.0	30.2	34.2	13.1	38.7	32.1	53.9	13.6	1.3	13.4
	65～74歳	100.0 (1,171)	54.1	38.9	55.0	55.7	59.4	45.1	61.7	24.5	32.5	21.3	26.3	39.1	39.0	16.7	40.5	36.4	62.2	15.5	1.5	5.2
	75歳以上	100.0 (1,402)	39.9	26.7	36.9	37.2	42.2	33.7	45.4	15.6	25.0	11.8	9.2	22.7	30.1	10.1	37.2	28.5	47.1	12.1	1.2	20.2
(世帯構成)別	単身世帯(ひとり暮らし)	100.0 (1,047)	39.8	24.1	33.0	27.7	41.6	30.9	61.7	13.4	22.7	13.6	17.3	31.8	26.4	11.6	35.1	28.5	47.6	11.5	2.0	12.2
	一世帯(配偶者と二人暮らし)	100.0 (1,732)	50.4	34.2	46.0	48.1	55.4	41.5	55.3	19.3	29.8	19.3	19.1	31.4	36.5	14.7	40.4	34.9	55.8	14.3	1.0	8.3
	二世帯・三世帯	100.0 (1,651)	44.8	30.3	44.8	44.2	49.3	39.4	44.2	19.3	28.8	15.7	21.2	26.8	33.9	11.4	37.4	31.2	58.1	11.8	1.0	13.9